

第19回

EAJ 中部レクチャー in Webinar

医工連携を意図した 整形外科領域への参入



新谷 一博 氏 (金沢工業大学 客員教授・工学博士)

少子高齢化が進む我が国において、加齢が原因で整形外科的治療を要する案件が増加している。特に大きな荷重を受ける股関節や脊椎などに損傷を受けた場合、羅患者は著しくそのQOLを落とし、寝たきりとなる場合も多い。本講演では、骨に関する概要に始まり、最近多用されている治療の人工物埋植の際に生ずる問題点、また、これらを改善するための治療として骨欠損部への人工物の埋植修復時に要求される高骨伝導能について、従来行われてきた自家骨移植（健常部位の侵襲性が高く、2次感染リスクも大きい）に変わる新足場材料としてDLC被膜3Dハニカム構造を提案し、この骨伝導能や早期骨伝導能を可能にする遺伝子について言及する。

2024年 **2月16日** (金) **17:00~18:30**

会場：Zoom によるオンライン開催
参加費：無料

主催：日本工学アカデミー 中部支部
協賛：日本工学アカデミー 関西支部

参加申込フォーム

<https://forms.gle/vjZSkZVBZU7xdHz68>
2月13日 (火) 〆切

※申込みを終わると、入力内容が自動返信メールで届きます。
※開催日の数日前に、オンライン招待状をお送りします。

公益社団法人

日本工学アカデミー 中部支部

<https://www-ie.meijo-u.ac.jp/~kawasumi/EAJC/index.html>

お問い合わせ：info.eajc@gmail.com